

広報119

2013春号 vol.15

地域の防災は
みんなの力で!

第三町内自治会自主防災組織(千厩町)による訓練風景

●●● 今後の行事予定 ●●●

6月29日	危険物取扱者試験	9月8日~14日	救急医療週間
6月30日	一関市水防訓練	9月9日	救急の日
7月20日~21日	避難所生活体験研修会	10月26日	危険物取扱者試験
8月24日	消防設備士試験(奥州会場)	10月31日	第4回幼年消防大会
9月1日	防災の日		

一関市消防本部のホームページ

WEB
で検索

一関消防

検索

火災などの災害情報の問い合わせ

TEL 0180-991199

住民ひとりひとり、自主防災組織の組織力

防災への住民・自主防災組織の力を再確認

三月十日川崎公民館で防災フォーラムを開催しました。

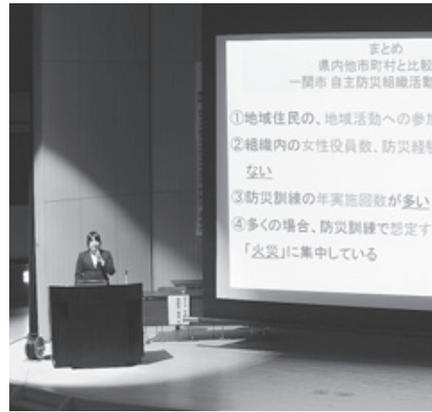
二年前に発生した東日本大震災を教訓に、防災に強いまちづくりを進めるため、毎年開催しているものです。当日は市内各地域から自主防災組織や婦人消防協力隊など百五十人が集まり聴講しました。

岩手大学農学部砂防研究室教授の井良沢道也教授は「住民が持つ防災力を生かす」と題して講演を行いました。

その中で教授は日本では毎年土砂災害が発生している。土砂災害は前



川崎公民館ホールには150名を超える皆さんが集まりました。



伊香歩美さんの報告

兆現象が多数確認されている。これを感じて必要だと話しました。

また同大学農学部共生環境課程四年の伊香歩美さんは「自主防災組織の現状と可能性を探る」と題して、岩手県内の自主防災組織へのアンケート調査によりわかったことを、県平均と一関市で比較してその違いについて考察し、一関市は県内

他市とくらべて防災組織の組織率は八十九%と県内の七十六・六%より高い、住民の地域活動への参加率が比較的高いが、防災活動はやや低調である。防災訓練の年実施回数も多い。また組織内の女性役員数が比較的少ないなど結果を話しました。

参加者はメモをとりながら熱心に話に聞き入っていました。

集中豪雨・台風期に備えて!

「避難勧告」「避難指示」が発令されたら

市では、水害や火災の災害時に危険地域にある住民の生命を守るため「避難勧告」と「避難指示」を発令する場合があります。これらの違いを理解し、早期の避難行動を起こすことが、「自らの身を守る」ことにつながります。

緊急度		名称	市民に求める行動	伝達方法
高 ←	低	避難指示	人的被害の発生する恐れがあるので、指定された避難場所への避難を勧めます。	FMあずも 広報車 ラジオテレビ
		避難勧告	人的被害が出る危険性が非常に高まった場合に発せられるものです。ただちに避難行動を開始してください。	防災行政無線 サレン吹鳴等

避難指示が出される状況では、大災害の前兆現象が見られたり、すでに災害が発生している可能性があり、この場合避難自体が難しくなっている場合もあります。避難勧告が出された段階で、指定された避難所へ避難しましょう。

避難勧告や避難指示が出ない場合でも、危険を感じた場合は、近くの学校などに自主的に避難することも

必要です。そして、実際に避難する際は、近所の人にも声をかけて、なるべく集団で避難するようにしましょう。自分たちがどこに避難すればいいのか、どの道を通れば安全に避難できるのか、あらかじめ確認しておきましょう。

また、これらの情報は「いちのせき防災メール」でもお知らせします。その他、火災・救助といった災害事案の発生情報（消防出場情報）などメールでお知らせしています。登録する際には、配信を受けたい「災害種別」や「地域」、「時間帯（二種類）」を指定することができますので、自分の必要な情報を選択して受信することが可能です。

「いちのせき防災メール」登録は、一関市消防本部ホームページから消防出場情報へ。または、ホームページから携帯電話でモバイル版ページにアクセス。

モバイル版ページ
お持ちの携帯電話でサイトにアクセス
<http://www.city.ichinoseki.iwate.jp/m/>



その他火災って何？

「いちのせき防災メール」で配信される災害種別には「火災」「救助」「災害警戒」があり、その中でも比較的問い合わせの多い災害区分について解説します。

■火災

○その他火災：「建物火災」「林野火災」「車両火災」「船舶火災」「航空機火災」の分類に含まれない火災で、具体的には空地、田畑、道路、河川敷、ごみ集積場、屋外物品集積場、軌道敷、電柱類等の火災を指します。

■災害警戒

○救急支援：住居内の搬送路が狭い場合、階段が急な場合、道路が狭く救急車が要請場所の近くまで進入できない場合など、救急隊のみでは傷病者を搬送することが困難な場合に、救急隊を支援するため必要な人員・資機材を載せた消防隊の増強出場を指します。

○回転翼機警戒：ドクターヘリや防災ヘリなど、飛来・離着陸するヘリコプター（回転翼機）の安全管理（火災等の警戒、回転翼による砂塵防止のための散水や、航空機誘導活動）を行うための警戒出場を指します。

シリーズ第十四回

子供を事故から守ろう

県立磐井病院 救急医療科長 片山 貴晶



子供の事故は防ぐことができます。十年程前に磐井病院における子供の事故を調べてこの広報に書きました。二〇〇四年一年間で磐井病院に怪我などをした七歳以下の子供は五百六十四人で、うち約一割の五十六人が乳児でした。亡くなった子供は四人でした。このうち親の注意や柵の設置など簡単な方法で防げる例が約八十%もありました。その後母親学級での講習会や広報で事故防止の周知を行いました。

再び二〇一二年に同様の検討を行ってみました。結果、患者数は四百八十一人でうち乳児は約十%の四十八人と以前と変わりませんでした。入院となったのは二十七人で、心肺停止は溺水の一人だけでした。救急車の使用は三十二人で、大人と比べるとなぜか非常に少ない印象があります。床上の日用品などによる異物を食べてしまったり、気道異物は四十二人（うちタバコ十人、気道異物十二人）と前回の二十人（六人、七人）を上回り、うち三十七人が八ヶ月〜三歳と乳幼児でした。リピーターも多く見受けられました。やけどは三十七人で深い二度以上が二十六人でした。ストー

ブ・ファンヒーターによるものが十一人で最も多く、味噌汁九人、熱湯九人と続きました。熱湯が原因のうちポットによるものが三人で、いずれも防止することができると思われます。ケガは三百九十三人で、うち二十八人が乳児でした。頭のケガが最も多く百六人で、骨折は二十二人でした。転落によるケガ八十三人のうち階段が二十二人で、すべて柵の設置により防止できると思われました。歩行器による転落も二人おり、いずれも九ヶ月の乳児でした。歩行器は以前より禁止となつている国もあり対策が必要です。ベッドからの転落五人（うち乳児三人）、抱っこ五人、肩車一人、車のドア十人、パワーウィンドウ二人、チャイルドシートなしでシートから転落二人など、ちよつとした注意で十分防ぎ得たと思われまます。乳児だけでは異物を食べてしまったのが十二人、やけどが六人と多くみられました。一歩間違えれば重篤で死に至る可能性があった例もありました。検討の結果約六十%が防止できることがわかりました。以上を参考にさせていただいて、親は子供の事故防止に努めましょう。

新一関北消防署 落成

この度、大東地域における消防防災拠点となる新一関北消防署が落成の運びとなりました。これもひとえに、市民の皆様をはじめ関係各位の深いご理解とご支援によるものであり、心から感謝申し上げます。

完成した新庁舎は、災害時の拠点となるべく耐震構造で建築されており、24時間稼働できる自家発電設備も備えております。また、屋上には自然エネルギーを活用した太陽光発電設備、事務室には省エネルギーのLED照明を備え環境に配慮した庁舎でもあります。

今後とも、市民の生命・財産を守るため防災体制の確立に努めてまいりますので、皆様のより一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



避難所生活体験研修会参加者募集

東日本大震災を振り返り、避難所の運営に参加体験し、避難者の役割等について考えます。

- 1 とき 7月20日(土) 午後4時から
21日(日) 午前10時まで
- 2 ところ 一関学習交流館
(一関市赤荻)
- 3 定員 80名
- 4 内容 避難所運営体験等
- 5 問合せ 6月15日から受付を開始します。各消防署・分署へお申し込みください。



消防救助技術訓練

災害現場等で迅速・確実な対応をするため、救助技術の習得と精神力の強化を図るため、様々な救助法について訓練を行います。

どなたでも自由に見学できますので、お気軽にお越しください。



- 訓練日 平成25年5月～7月頃まで
平日9時30分～12時
- 場所 一関東消防署 訓練場
(一関市千厩町千厩字上駒場360-9
千厩アイスアリーナ隣)

発行日 ●平成25年5月25日

編集 ●一関市消防本部

〒021-0053 岩手県一関市山目字中野140-3

TEL (0191) 25-0119

火災予防広報

山谷少年消防クラブ

年末年始の火災予防を訴え、山谷少年消防クラブ(厳美町)による広報が山谷地区で実施されました。

夏休みに続いての取り組みで、クラブ員と地元消防団員など関係者約十名が参加しました。

クラブ員は地元消防団と共に消防車に乗り、「火を使う機会が多い時期です。火の取り扱いには注意しましょう。」など消防車のマイクを使い火災予防を元気に呼び掛けました。

クラブ員 千葉晴登君(厳美小学校六年生)は「地域の火災予防活動を行い、火災が起こらない様に気を付けてほしいと思いました。これからも少年消防クラブと消防団と一緒に広報活動を続けた方がよいと思いました。」と力強く話していました。



地域に根ざした防災活動を表彰

優良自主防災組織等表彰式

2月23日、一関市消防本部で優良自主防災組織等表彰式が行われました。これは自主防災組織等の活動の推進と地域防災力の向上を目的に、優れた活動を行っている組織やその指導者を毎年表彰しているものです。表彰を受けた方々は下記の通りです。

(敬称省略)

上申の部

一関地域婦人消防協力隊
分隊長 千葉 和子
花泉町婦人消防協力隊
分隊長 熊谷 恵子
花泉地区自主防災会
指導者 佐藤 祐市
長坂7区自主防災会
(東山地域)
指導者 鈴木 孝男
第24区自治会総務防災部
(藤沢地域)
指導者 千葉ひろあき
奥玉地区婦人消防協力隊
(千厩地域)

応募の部

山目町地区自主防災クラブ(一関地域)
関が丘五民区自主防災会(一関地域)
一関17民区自主防災会(一関地域)
宮前民区自主防災会(一関地域)
日形自主防災会(花泉地域)
第2-2区自治会助け合い自主防災会(千厩地域)
高成自治会自主防災会(川崎地域)



表彰を受けた皆さま